

地域母子保健

責任者・コーディネーター	成育看護学講座 西里 真澄 講師		
担当講座・学科(分野)	成育看護学講座		
対象学年	4	区分・時間数	講義 12 時間
期 間	後期		
単 位 数	1 単位		

・学習方針（講義概要等）

地域母子保健に関する基本理念を踏まえ、地域社会の中で助産師が行う活動の実際について、その展開方法を学ぶ。また、助産師が行う地域母子保健活動のうち、健康教育に焦点をあて、その具体的な方法について学修する。さらにそれらを通して、地域母子保健における助産師の役割を考察する。具体的には、地域母子保健、関連する母子保健行政（法律、統計、関連機関等）および助産師が行う地域母子保健の実際（健康教育・家庭訪問等）について学修する。

・教育成果（アウトカム）

地域母子保健を関連機関との連携の視点で理解し、その中での助産師の役割を考えることができるようになる。また、具体的な地域母子保健活動の内容を知り、留意点や重要点を理解しながら展開方法を知ることができる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：2, 3, 4, 5, 7, 8

・到達目標（SBO）

1. 地域母子保健の概要を理解し、連携機関やその中での助産師の役割を考えることができる。
2. 助産師が行う地域母子保健活動の具体的な内容を知り、実施時の留意点や重要点を理解することができる。
3. 健康教育を立案し、演習形式で実施することを通じ、実施時の留意点や重要点を理解することができる。

・ 授業日程

(矢) マルチ 3-A 実習室

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
10/5	火	1	成育看護学講座	西里 真澄 講師	<p>地域母子保健とは 関連する母子保健行政 (グループワーク)</p> <p>・ 地域母子保健と関連する母子保健行政に関する学習を通し、連携機関やその中での助産師の役割について理解することができる</p> <p>【事前学習】 助産師基礎教育テキスト第3巻 第6章 地域における助産サービス (p156-170) を読んでおく</p>
10/5	火	2	成育看護学講座	西里 真澄 講師	<p>地域で助産師が行う育児支援 (演習)</p> <p>・ 助産師が地域で行う育児支援 (ベビーマッサージ、育児サロン運営等) の実際について、演習を通じて理解することができる</p>
10/6	水	2	成育看護学講座	遊田 由希子 特任准教授	<p>助産師が行う健康教育①</p> <p>・ 助産師が行う健康教育を立案する際の留意点や手順等について理解することができる</p>
10/7	木	2	成育看護学講座	西里 真澄 講師	<p>助産師が行ういのちの教育 (演習)</p> <p>・ 助産師が行う学童・思春期世代等に対するいのちの教育について、演習を通じて理解することができる</p> <p>【事前学習】 助産師基礎教育テキスト第2巻 第7章-4 健康教育としての性教育 (p293-322) を読んでおく</p>

10/7	木	3	成育看護学講座	遊田 由希子 特任准教授	助産師が行う健康教育② (グループワーク) ・グループに分かれ、学生が決めたテーマのもと、助産師が行う健康教育の指導案を立案することができる
10/25	月	3	成育看護学講座	西里 真澄 講師	助産師が行うウィメンズヘルスケア ・助産師が行うウィメンズヘルスケアについて、演習を通じて理解することができる
10/29	金	1	成育看護学講座	遊田 由希子 特任准教授 高橋 淳美 助教 山本 洋子 助教	助産師が行う健康教育③ (グループワーク) ・立案した指導案に基づいて健康教育を実施することができる
10/29	金	2	成育看護学講座	遊田 由希子 特任准教授 高橋 淳美 助教 山本 洋子 助教	助産師が行う健康教育④ (グループワーク) ・実施した健康教育を評価し、効果的な健康教育のあり方について説明することができる

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	助産師基礎教育テキスト 第3巻 周産期における 医療の質と安全	成田 伸 責任編集	日本看護協会出版会	2021
教	助産師基礎教育テキスト 第2巻 ウィメンズヘルスケア	吉沢豊予子 責任編集	日本看護協会出版会	2020
教	助産師基礎教育テキスト 第4巻 妊娠期の診断とケア	森 恵美 責任編集	日本看護協会出版会	2020
教	助産師基礎教育テキスト 第5巻 分娩期の診断とケア	町浦美智子 責任編集	日本看護協会出版会	2020

教	助産師基礎教育テキスト 第6巻 産褥期のケア 新生児期・乳幼児期のケア	横尾京子 責任編集	日本看護協会出版会	2020
---	---	-----------	-----------	------

・成績評価方法

グループワークへの取り組み状況 70%、課題 30%にて評価する。

・特記事項・その他

【事前事後学修の具体的内容及び時間】

授業内容について教科書等にて予習を行い講義に臨むこと。講義終了後は教科書や配付資料、ノート等にて復習を行い、次回の講義に臨むこと。各授業に対する事前学修時間は最低 30 分を要する。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

課題等については、次の授業等で適宜コメントを伝える等、学生にフィードバックする。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

助産師（別表 2）：地域母子保健

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター（VPL-FWZ60）	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ（P-100）	1	講義用資料投影